
富士川病院 3 階病棟改修工事設計図

20 25 / 04 / 15

<透析カウンター>

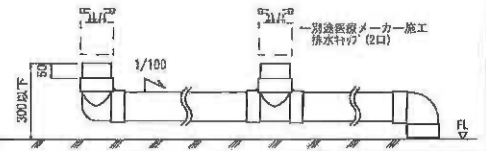
- A1 給排水チューブ・ケーブル類取出口 5ヶ所
設置位置：透析カウンター前面 FL+90 開口孔：φ60
配線孔キャップ取付け願います（スガツネ工業 SF70CM相当品）
- A2 点検口（500×500）ベットサイド用 4ヶ所
- A3 点検口（500×500）メンテナンス用 3ヶ所

※透析室及び透析カウンター内の床仕上げは防水仕様で施工願います。
（例：長尺塩ビシート溶着、壁面100以上巻き上げ）
※透析室・透析カウンターに漏水センサー設置ご検討下さい。
※透析カウンターを施工願います。（カウンター設備例をご参照下さい。）

<給排水>

- M1 給水15GV止（メネジ、コアコートなし） 施工方法は要打合せ4ヶ所
水压0.10～0.5MPa 水量2.0L/min 以上
※給水15GV止め以降（二次側以降）別途医療メーカー工事施工責任分岐点となります。
※寒冷地や凍結の恐れのある場所は給水管に凍結防止帯が必要です。
- M2 排水立上げ 50VP（雑排水）
- M3 透析装置排水吸引 40VP 透析カウンター内 4ヶ所
排水管勾配 1/100 パイプ止め（キャップは別途医療メーカー施工）

排水管詳細



※地域等で規制は異なりますが透析排水には排水処理設備をご準備下さい。

<配管>

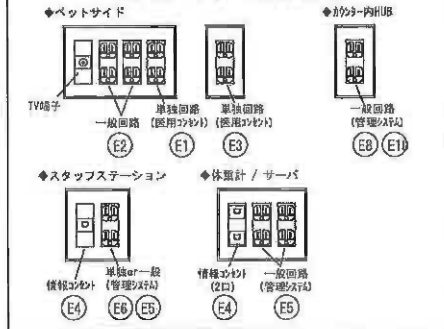
- D1 22φPF管（透析管理システムLAN用）CAT6（カテゴリ-6）計2本
透析カウンター～スタッフステーション1本 / 回線引き込み付近～透析カウンター1本

※最短距離で曲りの少ないルートで敷設願います。
※空配管接続の場合は、当該ヶ所に点検口の設置をお願い致します。
※極力カッピングは使用しないで下さい。

<電気>

- E1 透析装置コンセント AC100V 2口（単独回路、医用接地） 4ヶ所
医用接地（JIS T 1022）医用コンセント（JIS T 1021）をご準備下さい。
- E2 ベットサイド一般コンセント AC100V 4口（一般回路） 4ヶ所
- E3 個人RO装置用 AC100V 2口（単独回路、医用接地） 4ヶ所
医用接地（JIS T 1022）医用コンセント（JIS T 1021）をご準備下さい。
- E4 情報コンセント（透析管理システム用） 計 4ヶ所
スタッフステーション 3ヶ所 / 体重計まわり（2口）1ヶ所
（情報コンセント及び透析装置までのLANケーブルは別途医療メーカー施工）
HUBから機器類へLANケーブル直結の場合、情報コンセントは不要になります。
情報コンセント設置が無い場合は天井・天板面に配線孔をご準備願います。
- E5 透析管理システム用コンセント AC100V 2口（一般回路） 3ヶ所
- E6 透析管理システム用コンセント AC100V 2口（単独回路） 4ヶ所
- E7 光回線（MIGS-透析管理システム用 / リモートアクセス用）
光回線のお申し込みをお願い致します。（加入回線等の詳細は別途）
回線用のONU・ルーターは透析室スタッフステーションへ設置願います。
回線引き込み付近～ONUまでの空配管を敷設願います。（配管設備記載）
※サーバをサーバ室へ設置の場合、別途相談下さい。（追加設備がある為）
- E8 SW-HUB（16ポート）用コンセント AC100V 2口 計2ヶ所
透析カウンター内 1ヶ所 / スタッフステーション 1ヶ所
- E9 透析室機器類 分電盤（電灯設備盤と一体可） 平面図記載無し
- E10 一般コンセント AC100V 2口（一般回路） 5ヶ所

コンセントプレート詳細（参考）



※GC回路（非常用電源）に接続を希望される装置があるか施工様のご意向をご確認下さい。
※MIGSと電子カルテの連携実施の際は、接続用に電子カルテLANをご準備願います。
（MIGS サーバ×1本 / MIGS webサーバ×1本）

透析機器仕様一覧

透析機器仕様一覧									
記号	装置名称	電気 (kW)	給水	排水 放熱量 (KCAL/H)	寸法 (W×D×H)	運転質量 (kg)	数量	備考	
A	小型個人用逆浸透精製水製造装置 ET-RO I	単相100V0.09	0.5～0.8L/min	1.0L/min	450×149×670	22	4	加圧ポンプ内蔵	
B	個人用透析装置 TR-20EX	単相100V1.5		0.7L/min	300×510×1500	100	4		

必要電源 回路内訳

- E9 1※分電盤免電装置SPDを設置すること。
- 2※コンセントの数に対する回路数は施工業者様にてご設定願います。

単相100V 20AT MCCB	透析装置コンセント	制御1.5kW	4回路	E1
単相100V 20AT MCB	個人RO装置コンセント		4回路	E3
2※ 単相100V 20AT ELB	ベットサイド一般コンセント		一回路	E2
単相100V 20AT ELB	透析管理システム（単独）		4回路	E6
2※ 単相100V 20AT ELB	透析管理システム（一般、HUB 他）		一回路	E5 (E8)
単相100V 20AT ELB	一般コンセント		一回路	E10

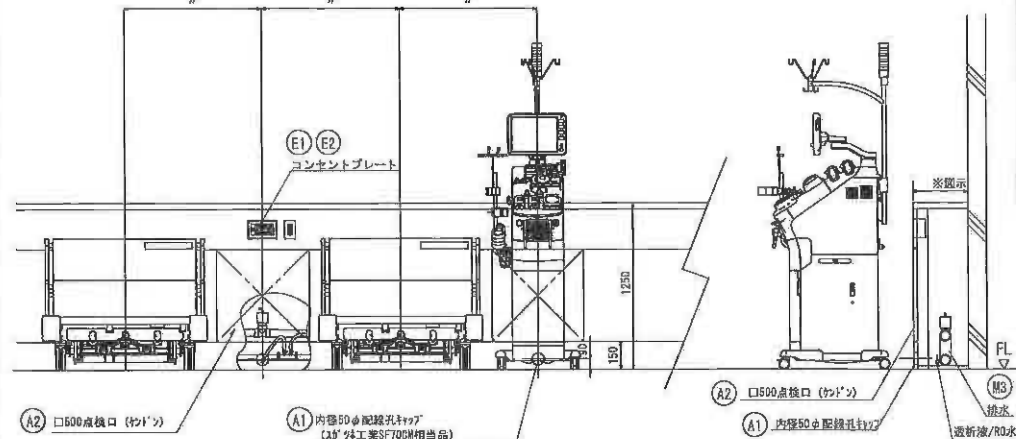
透析管理システム関連機器

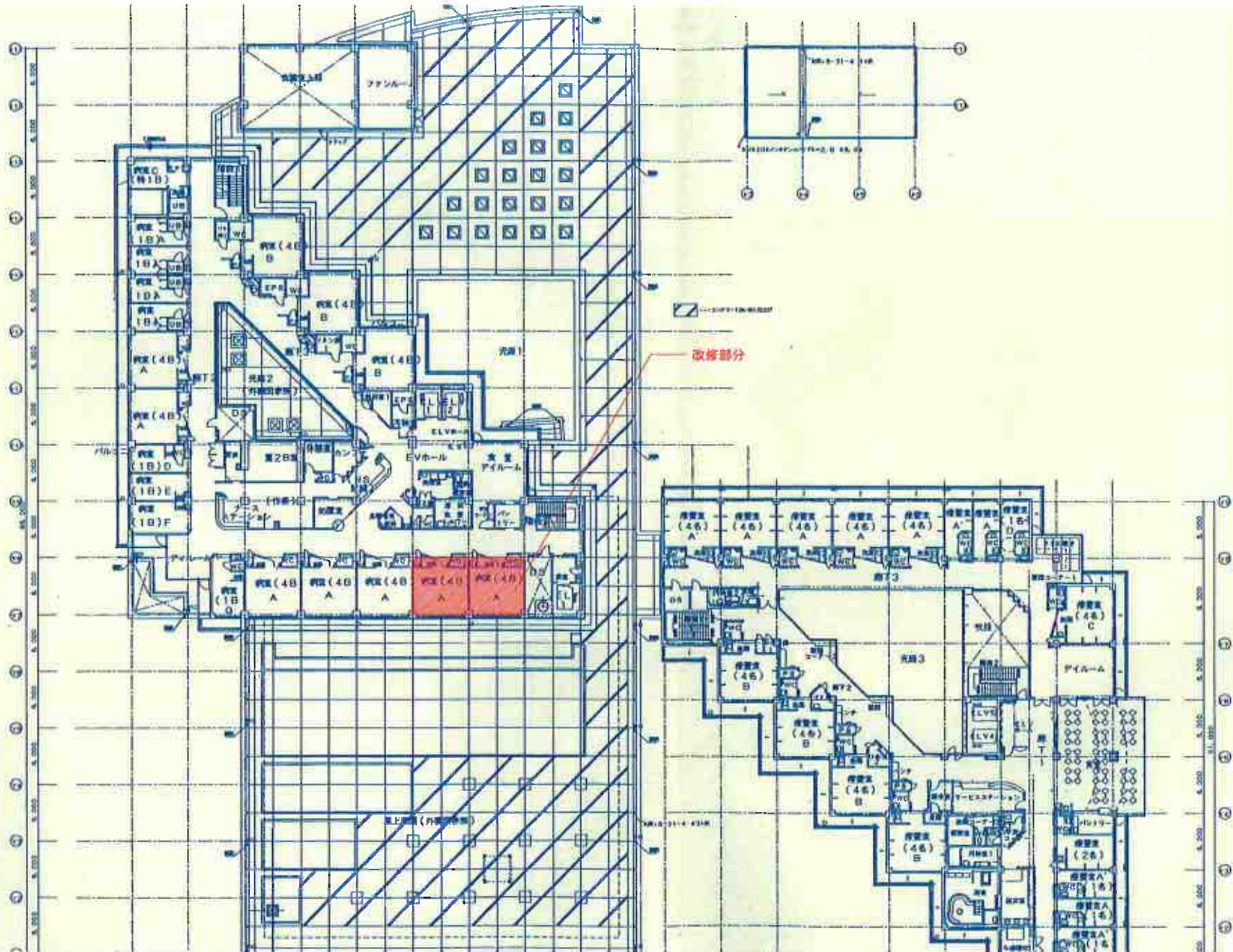
装置名称	台数	
サーバ（WEBサーバ）	1	※
クライアント	1	
レーザープリンタ	1	※
体重計PC	1	
カードR/W	1	
車椅子用体重計	1	

※コンセント単独回路のこと

カウンター設備例（参考）

※各ベッド右側（透析装置後部）に点検口を設け、上部にコンセントプレート 下部に配線孔キャップを取付のこと。
※透析カウンターは一次側にて施工願います。



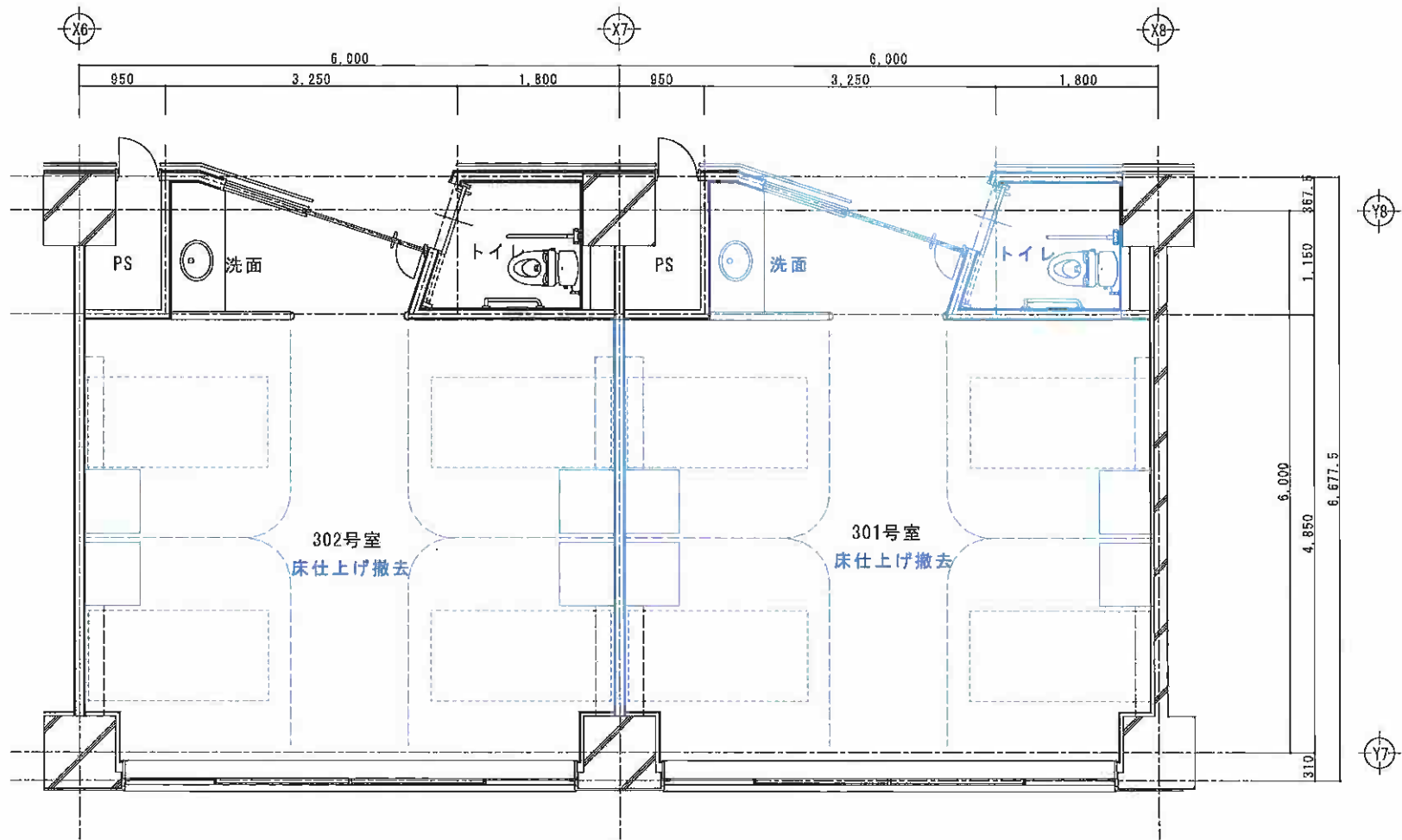


図記	

承認	作成	名称	富士川病院 3階病棟改修工事
----	----	----	----------------

図面名	3階平面図
-----	-------

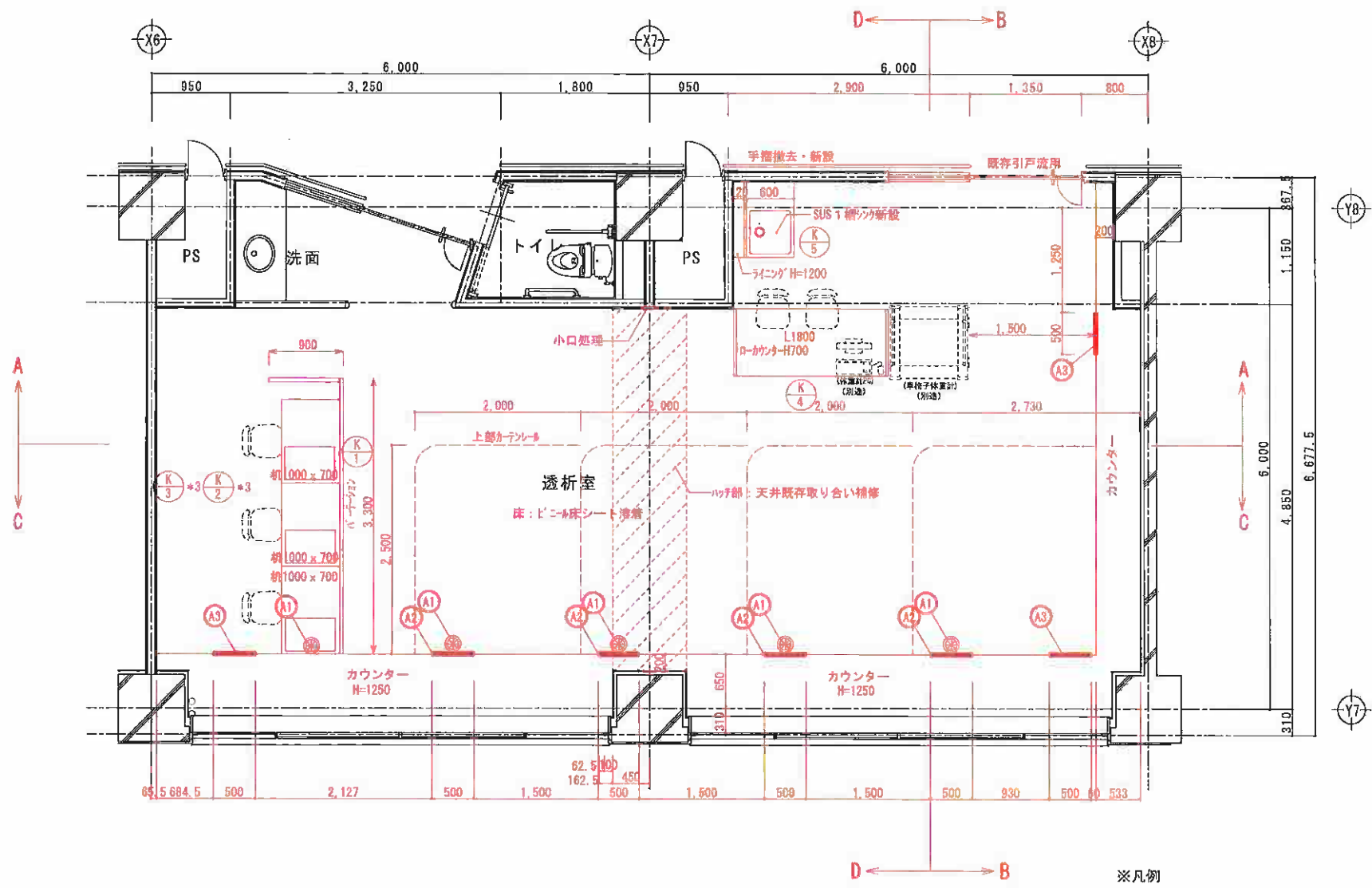
縮尺	年月日	NO
		3



※凡例

撤去部分を示す

原記	承認	作成	名称	図番名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	既存解体平面図	1/50		4

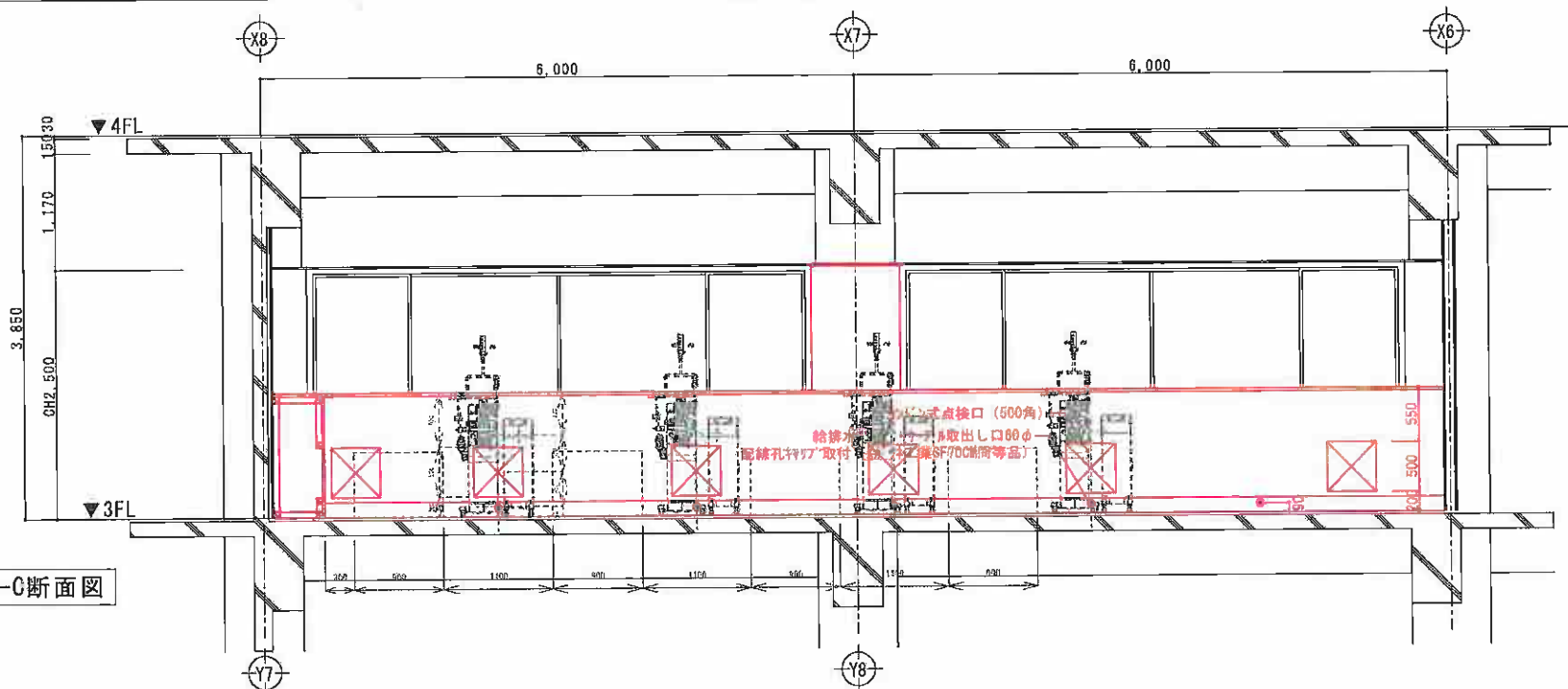


新設部分を示す

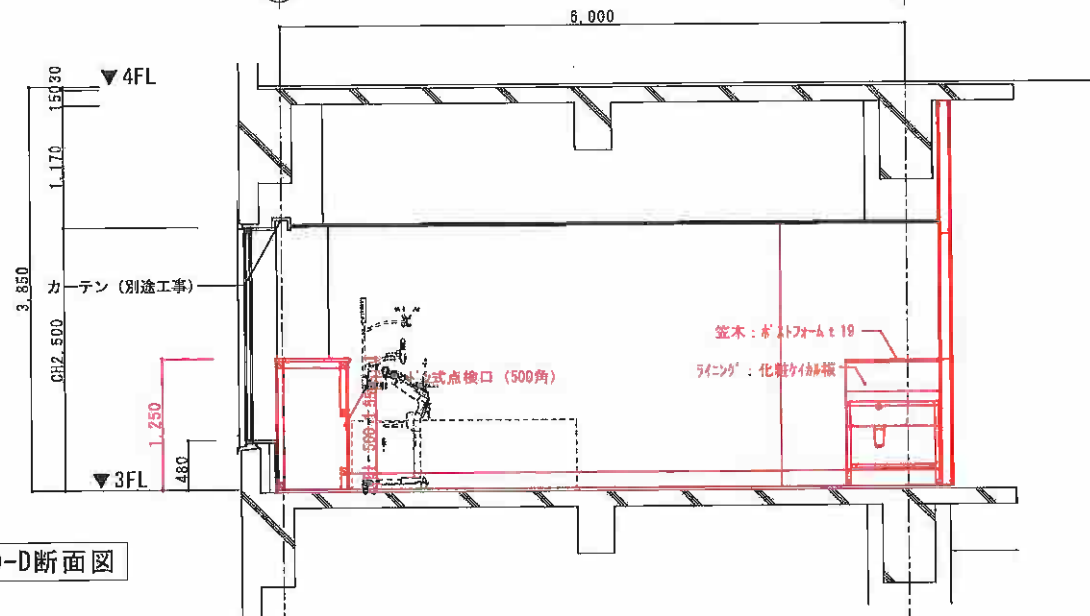
※凡例

<table border="1"> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>				<table border="1"> <tr><td>承認</td></tr> <tr><td>作成</td></tr> <tr><td>名称</td></tr> </table>	承認	作成	名称	富士川病院 3階病棟改修工事	<table border="1"> <tr><td>図面者</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	図面者		<table border="1"> <tr><td>縮尺</td></tr> <tr><td>1/50</td></tr> </table>	縮尺	1/50	<table border="1"> <tr><td>年月日</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	年月日		<table border="1"> <tr><td>NO</td></tr> <tr><td>5</td></tr> </table>	NO	5
承認																				
作成																				
名称																				
図面者																				
縮尺																				
1/50																				
年月日																				
NO																				
5																				
改修平面図																				

C-C断面図

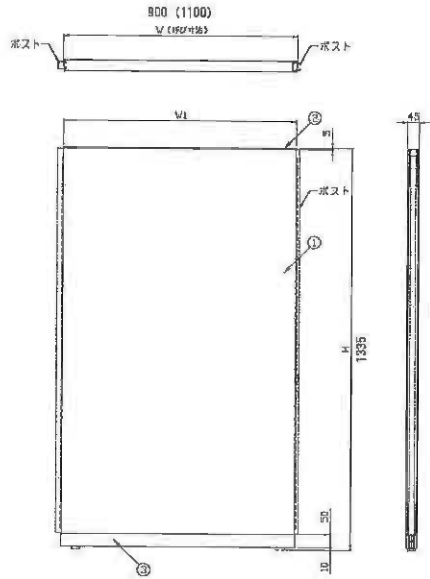


D-D断面図



附記	承認	作成	名称	図面名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	改修断面図2	1/50		7

K-1 PUX-1113 x 3枚
PUX-913 x 1枚

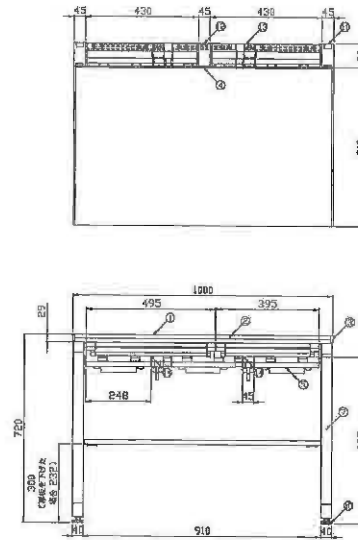


部品名	材質	備考
①ガラスパネル	強化ガラス	
②扉本	スチロブレン	
③取手	スチール	

品番	W	W1	H
PUX-0915S6VON	900	895	1335
PUX-1035AVON	1100	1095	

※品番のOにはHSシリーズのガラス色記号が入ります。
※取手はガラスのストリップからパネル材料側に装着されたガラスのストリップまでの長さです。

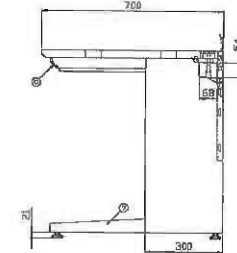
K-2 3箇所



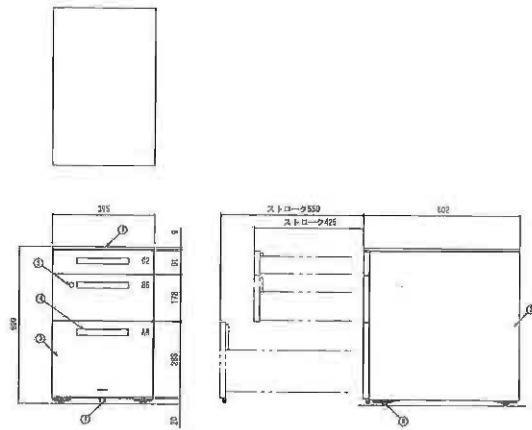
部品名	材質
①天板	メラミン化粧板
②天板フロントエッジ	ABS
③天板サイドエッジ	ABS
④天板後エッジ	ABS
⑤ロードダクト	両面ポリプロピレン
⑥扉板パネル	スチール
⑦外扉部	スチール
⑧外扉部上ステーキャップ	ABS
⑨外扉部下ステーカバー	ABS
⑩アジャスター	アイロン
⑪扉板カバーキャップ	ABS
⑫扉板カバー中間キャップ	ABS
⑬扉板カバー	ABS
⑭ハンガー引出し	PM/スチール

引き出し種類	有効内寸法			仕様
	W	D	H	
センター引出し(4本)	425	425	45	30イター・スライダ
センター引出し(4本)	325	425	45	30イター・スライダ
右側引出し(2本)	300			

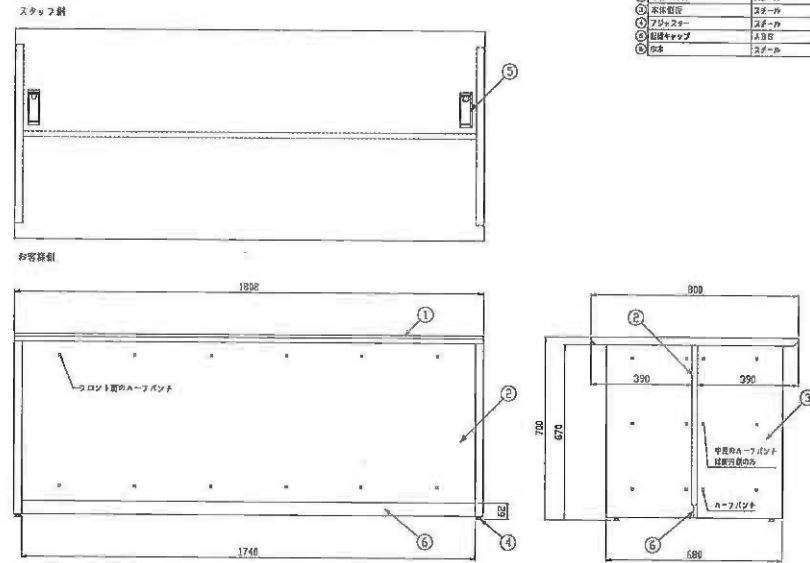
ラッチ留付材



K-3 3箇所



K-4 1箇所



部品名	材質	備考
①天板	両面メラミン化粧板 若シニバティックカバー	
②天板パネル	スチール	
③天板取手	スチール	
④アジャスター	スチール	
⑤扉板キャップ	ABS	
⑥取手	スチール	

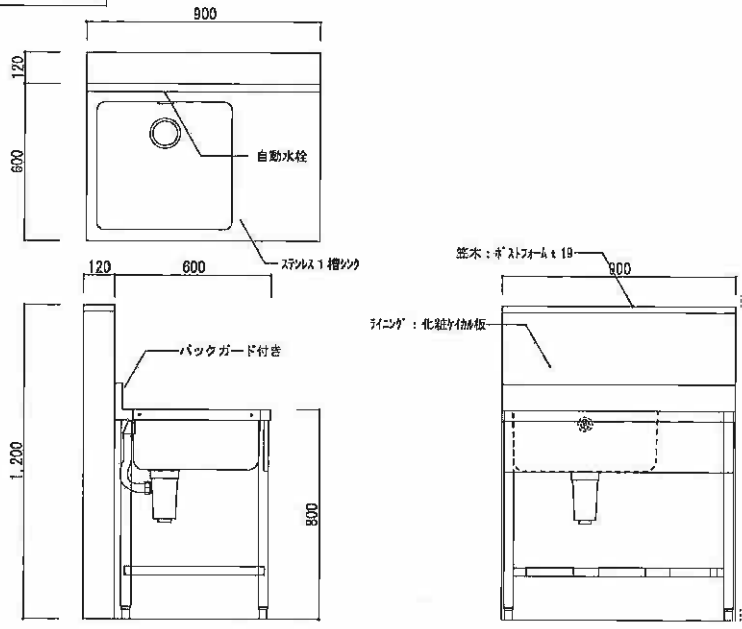
附記	

承認 作成 名称 富士川病院 3階病棟改修工事

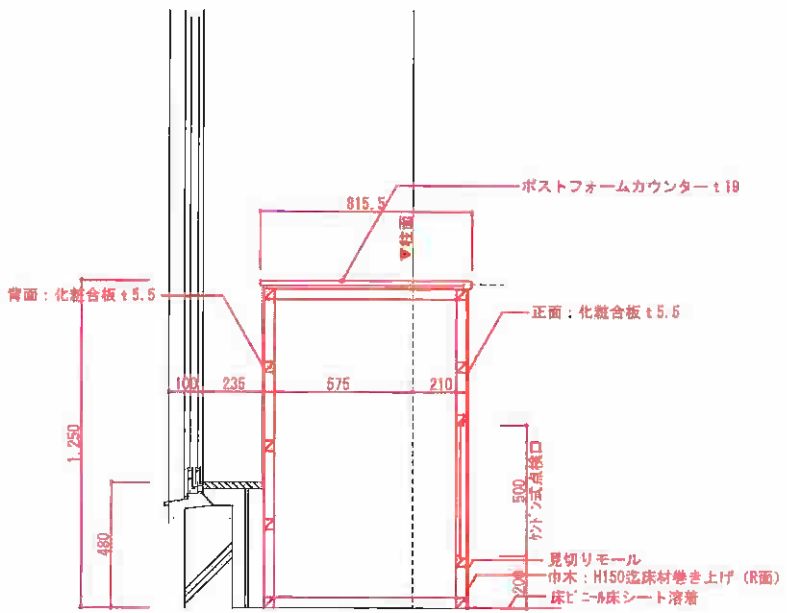
図面名 家具図 1

縮尺 1/20 年月日 NO 8

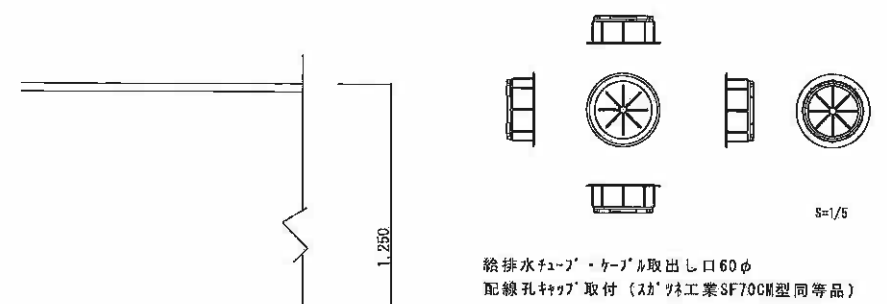
K-5 1箇所



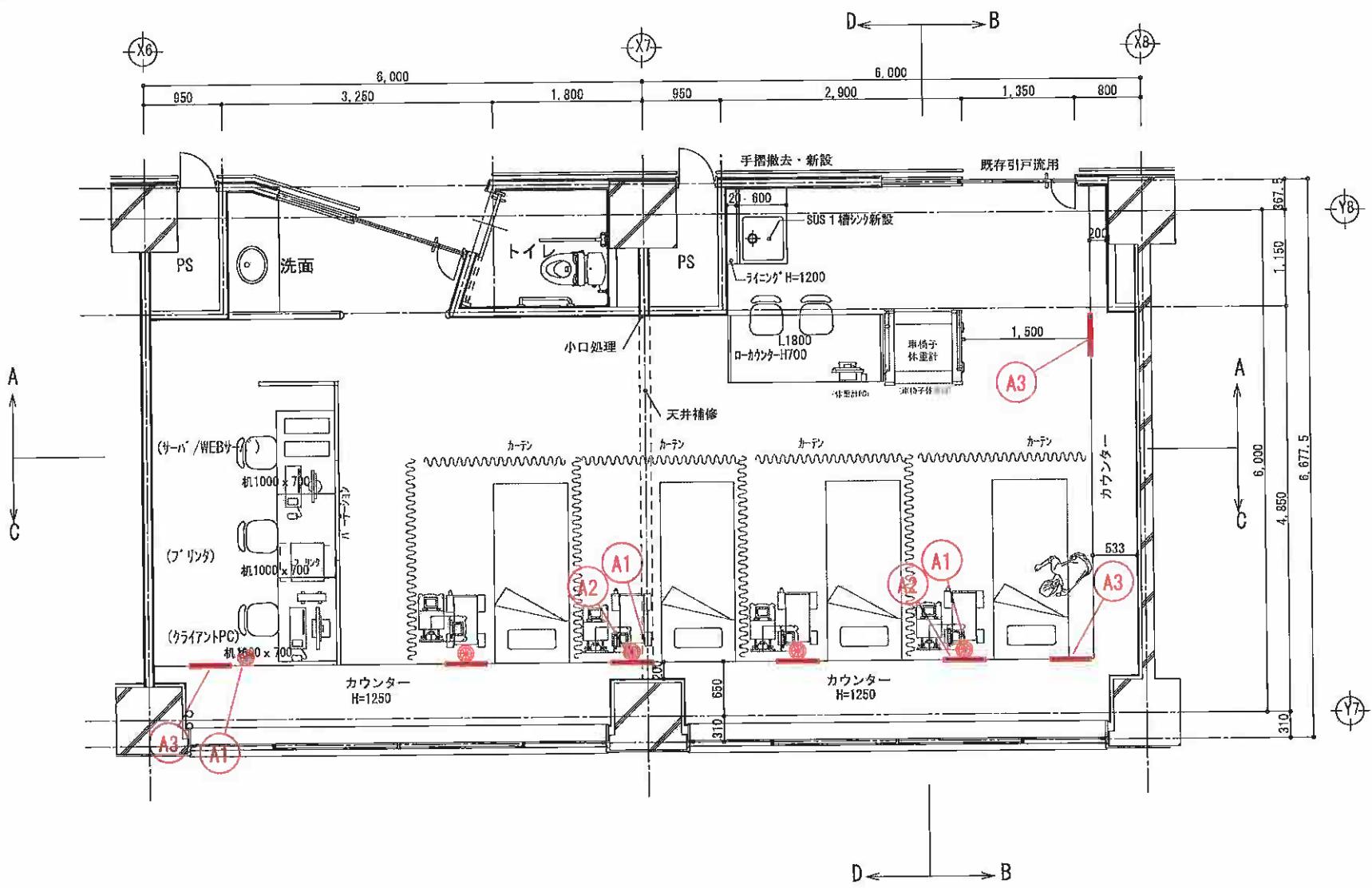
(A2) カウンター詳細図 (ヘッド式点検口)



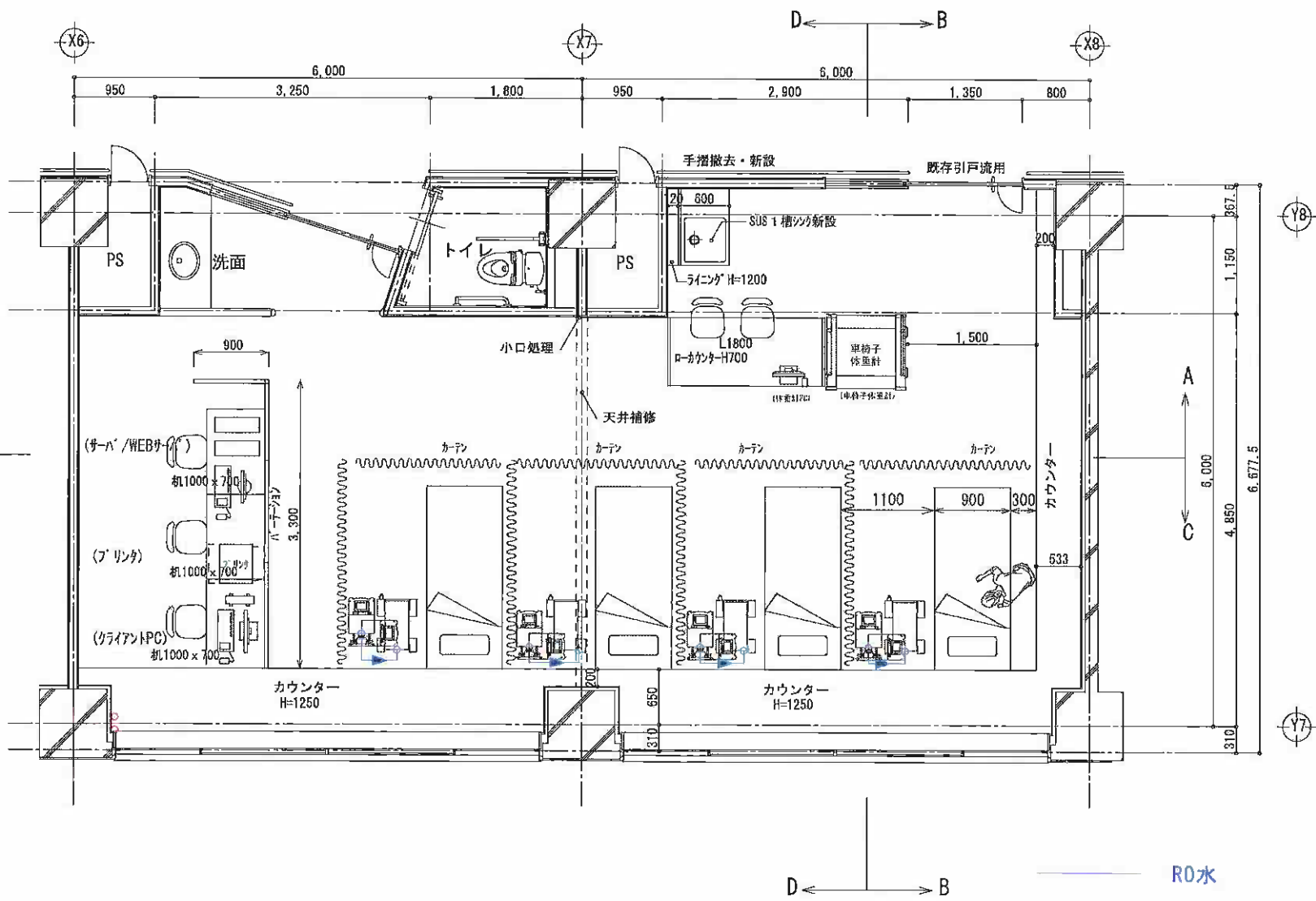
(A1) 給排水チューブ・ケーブル取出口



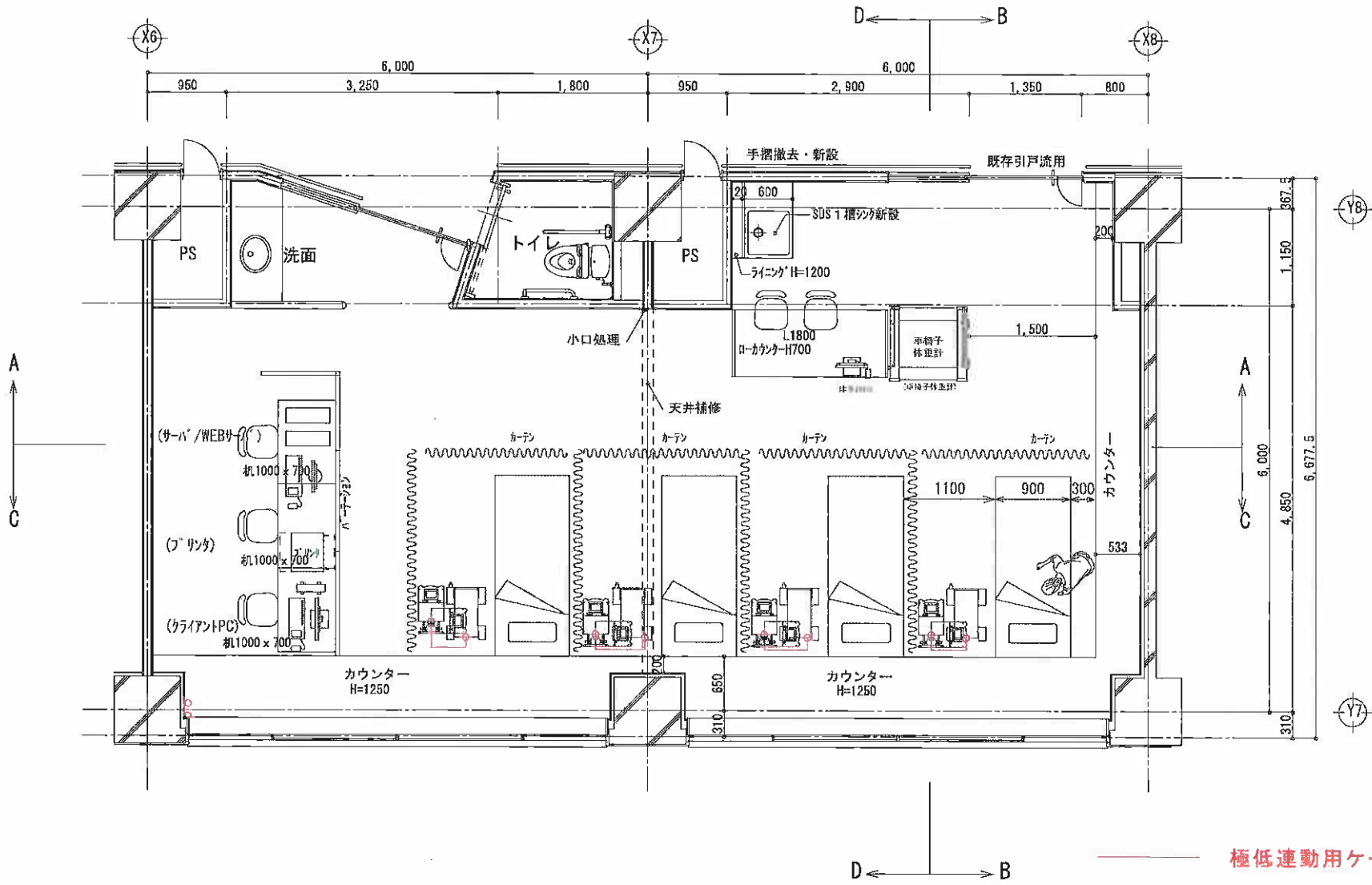
附記	承認	作成	名称	取組名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事		家具図 2	1/20	



附記	承認	作成	名称	図面名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	透析センター平面図	1/50		10

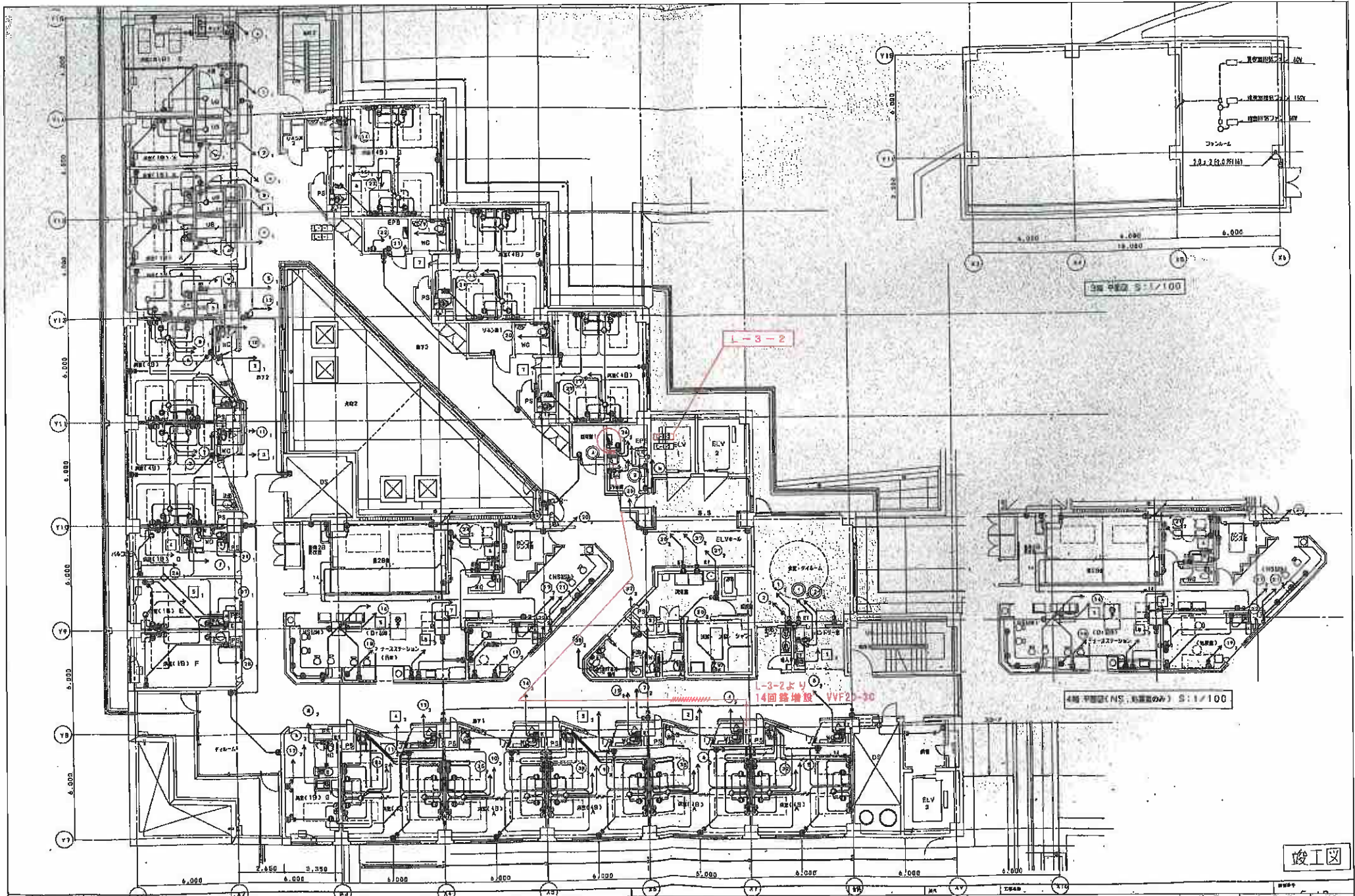


別記	承認	作成	名称	図面名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	透析設備図 1	1/50		11

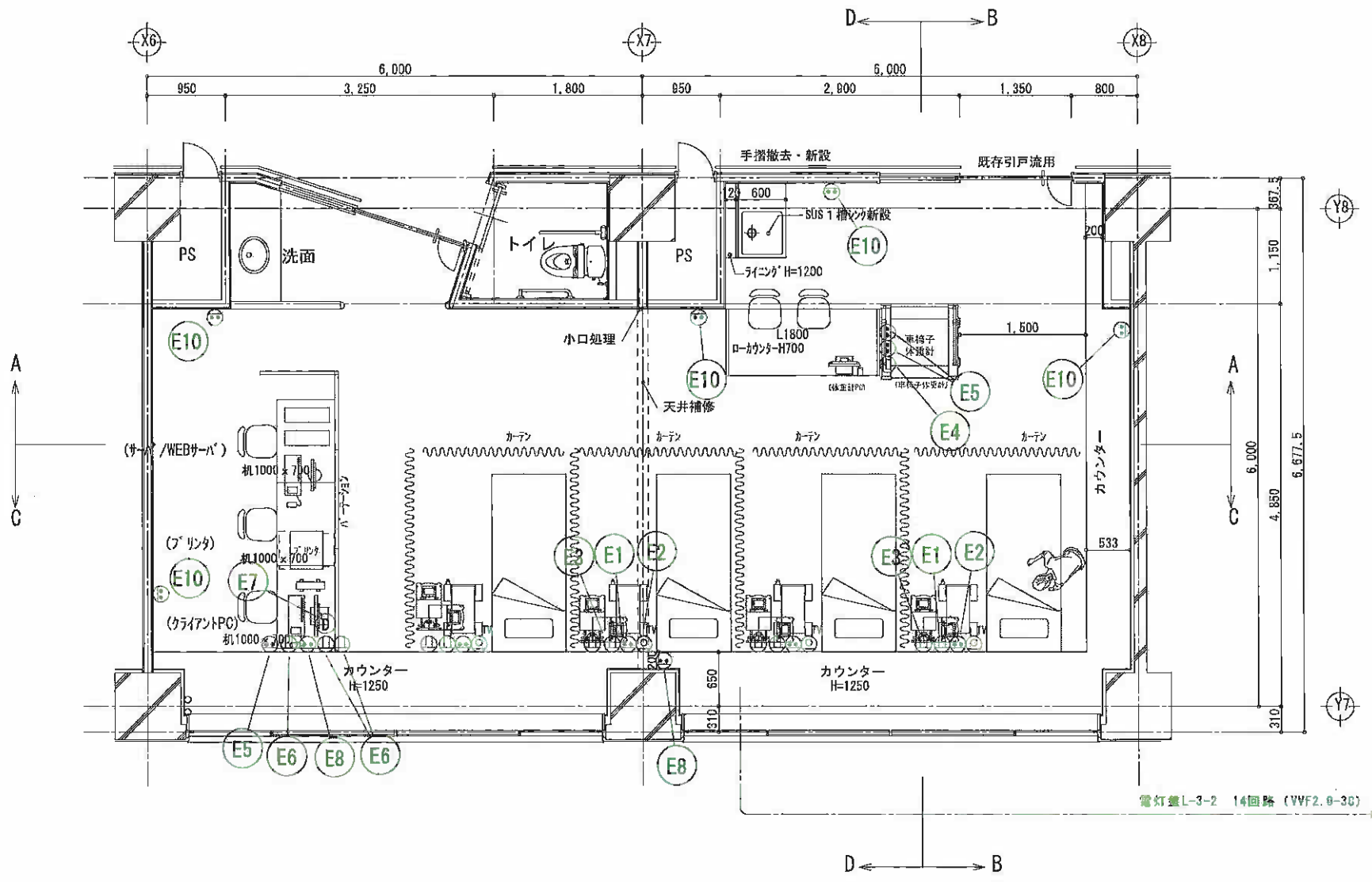


極低連動用ケーブル

別記 〃 〃	承認 	作成 	名称 富士川病院 3階病棟改修工事	部署名 	縮尺 1/50	年月日 	NO 12
	透析設備図 2						



図面名	縮尺	年月日	NO
富士川病院 3階病棟改修工事 既存電気設備平面図	1/200		13



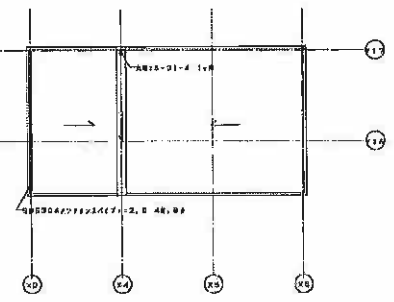
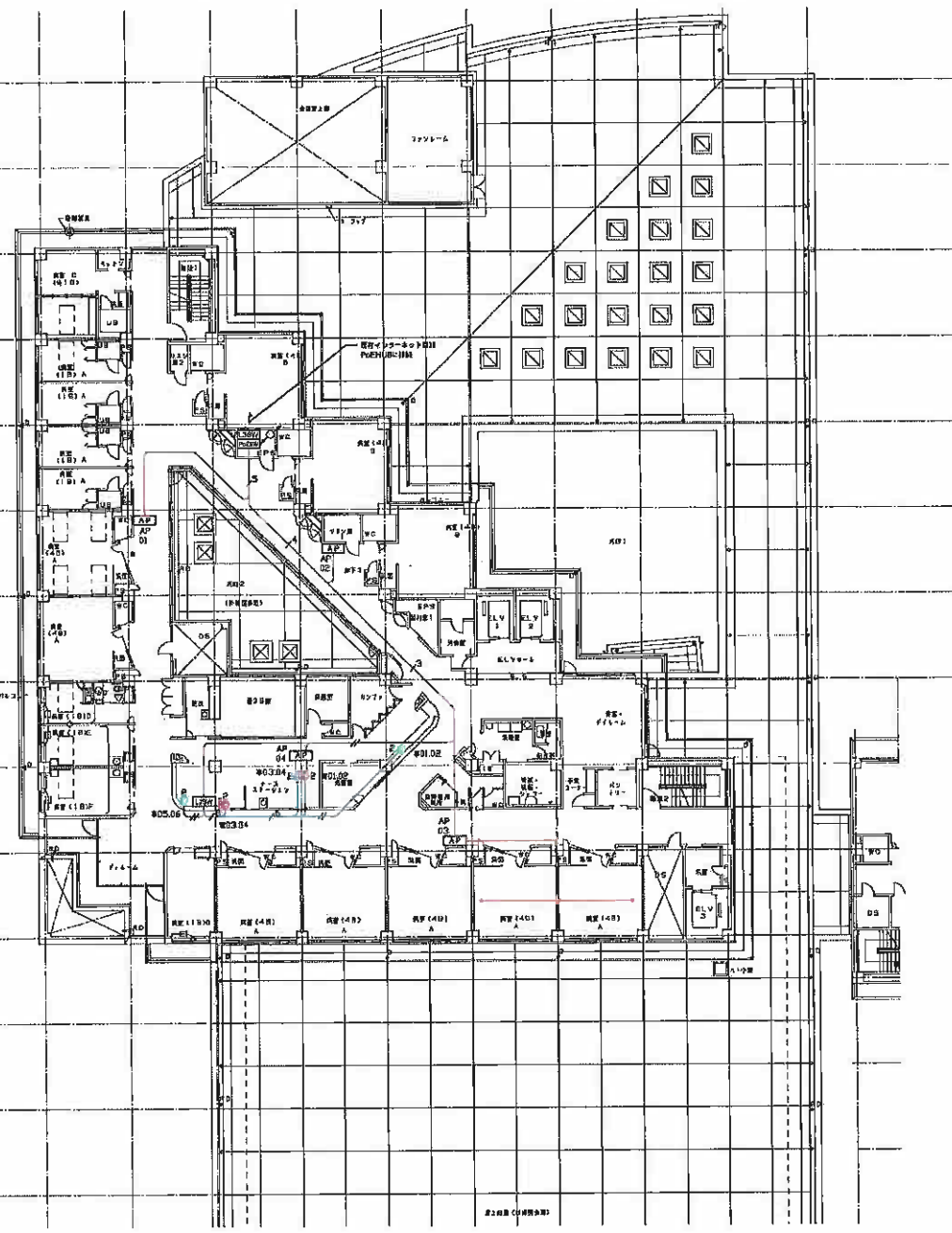
附記	

承認	作成	名称
		富士川病院 3階病棟改修工事

図面名	電気設備平面図
-----	---------

縮尺	年月日	NO
1/50		16

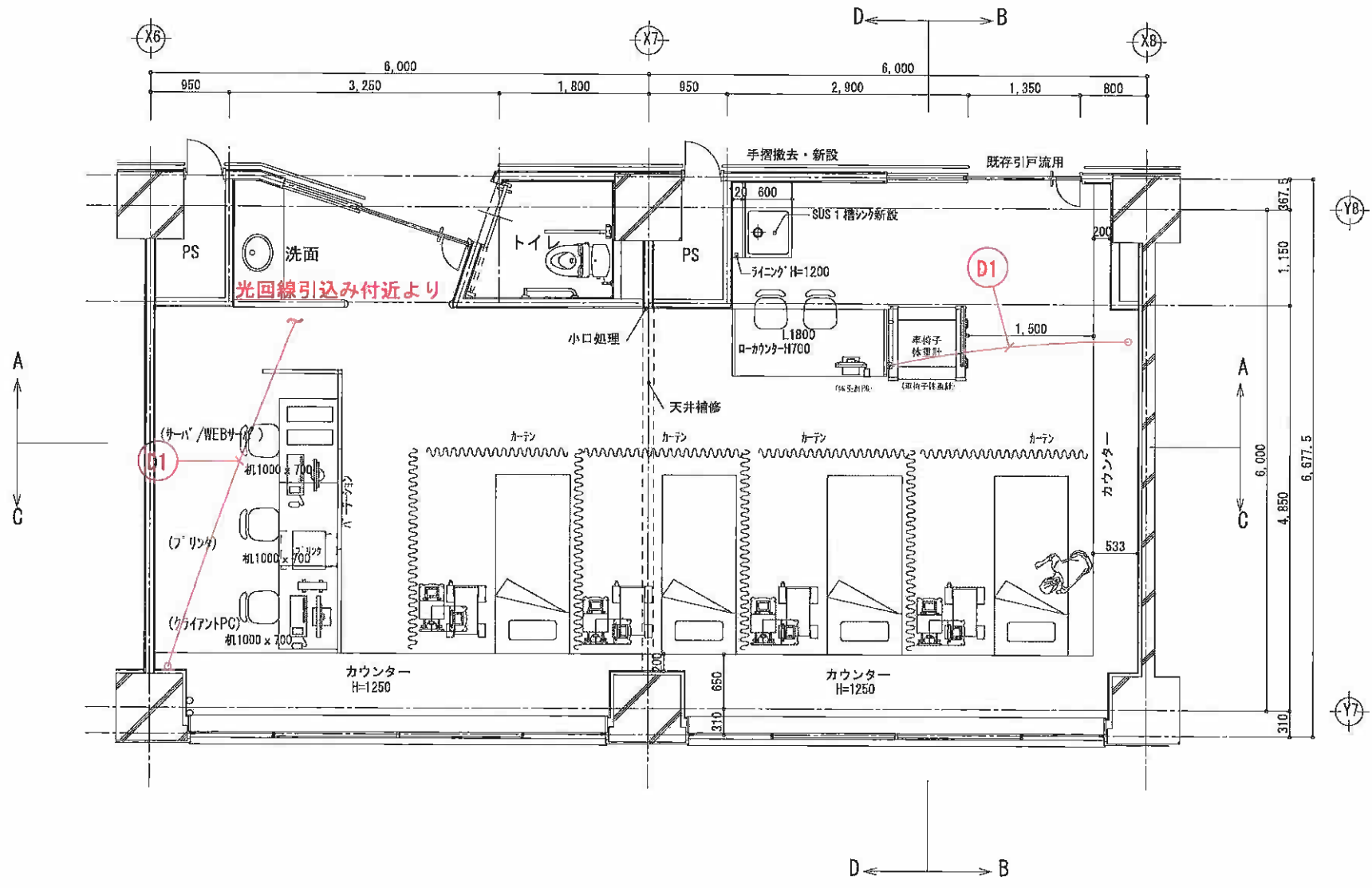
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿



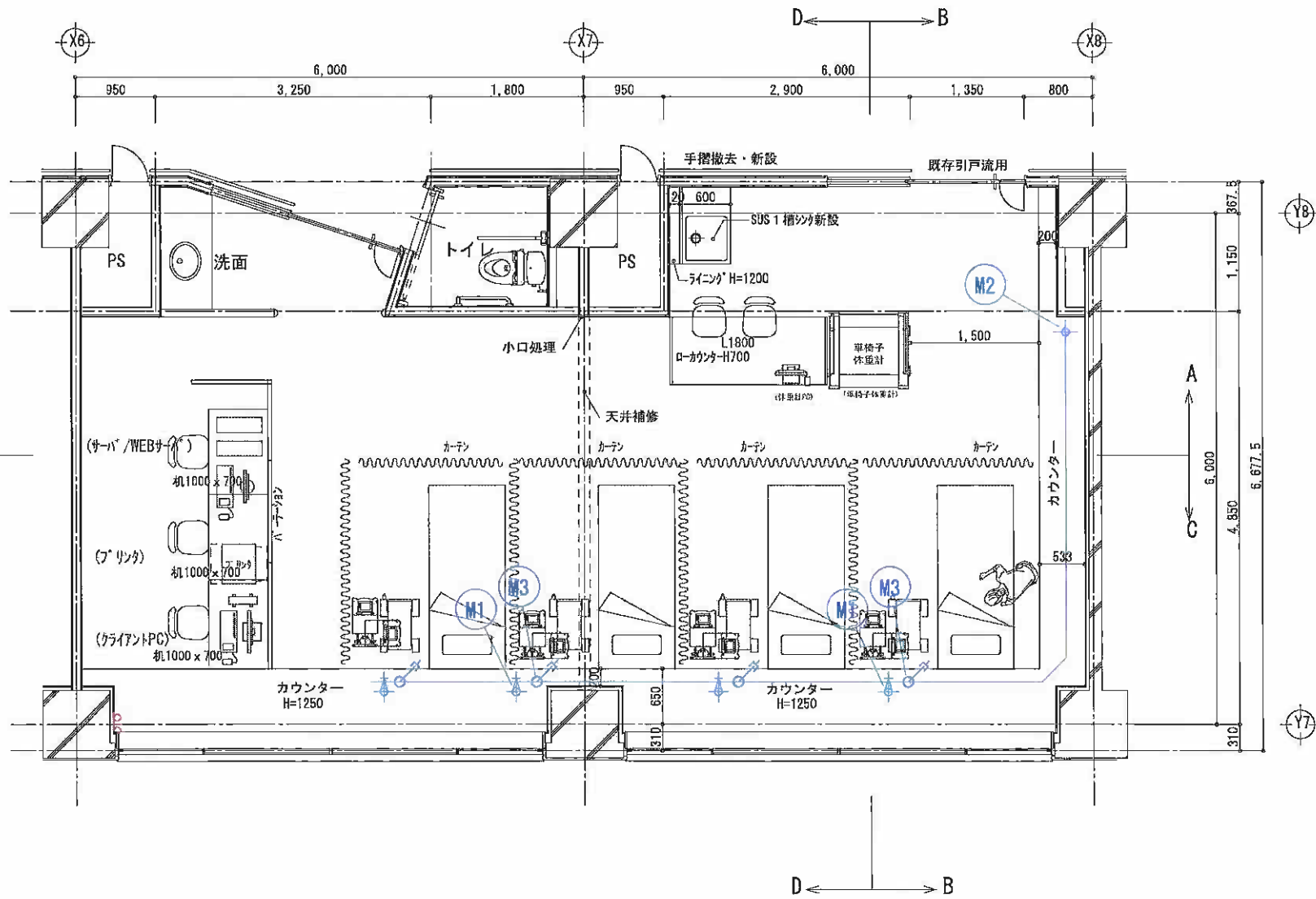
※凡例
 新設 ——— CAT6 x 2本
 (ケーブル・配管m数不明)

記号	名称	備考
CSW	フロアスイッチ	
ESS	エッジスイッチ	
PoE	PoE対応スイッチ	
AP	アクセスポイント	
MC	メディアコンバーター	
①	貸付け情報コンセント	
②	貸付情報コンセント	
③	既存貸付情報コンセント	
④	RJ-45モジュラープラグ	

1. 特記なき配線は下記による。
- EM-UTP0.5-4P CAT6 天井内配線
 - EM-UTP0.5-4Px2 CAT6 天井内配線
 - ③ EM-UTP0.5-4Px3 CAT6 天井内配線
 - EM-UTP0.5-4P CAT6 フリアク配線
 - EM-UTP0.5-4Px2 CAT6 フリアク配線
 - ③ EM-UTP0.5-4Px3 CAT6 フリアク配線
 - EM-UTP0.5-4P CAT6 天井内配線
 - EM-UTP0.5-4Px2 CAT6 天井内配線
 - ③ EM-UTP0.5-4Px3 CAT6 天井内配線
 - EM-UTP0.5-4P CAT6 フリアク配線
 - EM-UTP0.5-4Px2 CAT6 フリアク配線
 - ③ EM-UTP0.5-4Px3 CAT6 フリアク配線
 - 池袋会コーK コネクタ付 4芯 天井内配線
 - ⑤ 電子カルテ系統
 - ⑥ 事務系等



別紙 図面 仕様	承認 	作成 	名称 富士川病院 3階病棟改修工事	図面名 空配管平面図	縮尺 1/50	年月日 	No 18



附図	

承認	作成	名称
		富士川病院 3階病棟改修工事

図面名
給排水平面図

縮尺	年月日	NO
1/50		19

医療ガス設備特記仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素供給設備	酸素の供給は、既設酸素配管より分岐し、これより指示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設酸素配管と同圧力とする。
1-2 吸引供給設備	吸引の供給は、既設吸引配管より分岐し、これより指示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設吸引配管と同圧力とする。
1-3 アウトレット (配管端未挿)	1) アウトレットバルブと導入降手及び落下下げホースはガス別特定とし、定められたガス以外の接続は出来ない構造とする。 2) バルブ本体にはガスの種類により色分けされ、導入降手に付着々のメンテナンスのためのストップバルブを備えた構造とする。 3) 酸素・吸引のガス別特定方式はピン方式とする。 4) 懸付アウトレットの取付高さは、FL+1,000mm(器具芯)を標準とする。 天井吊下げ型アウトレットの取付高さは、バルブ下端がFL+1,800mmを標準とする。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガス名称	配管仕様	継手仕様	備考
酸素 吸引	銅管リン厚膜銅鍍金無管 JIS H 3300 C 1220Tの Lタイプとする。 ガス別に着色を施された熱収縮性 合成樹脂チューブ被覆銅管とする。	ろう付継手 左記の銅管による形成品又は JIS H 2401の加工品とする。 機械的継手 継手本体はJIS H 3250の 加工品とする。	銅管の異種金属に対する保護として 塩ビ管又は防食テープを使用する。 支持金具と銅管が直接接触しない様、 銅管用吊金具を使用する。

2-2 配管の識別表示

配管	酸素	吸引
識別色	赤	黒

2-3 配管の支持間隔

口径20mm 未満	1.5m	口径20mm以上、50mm以下	2.0m	曲肘及び分岐箇所は、0.5m以内とする。
1) 共用架台で支持及び固定する場合の節材は、50mm以下の場合は形鋼L-30×30×3t又は鋼板折り曲げによる40×40×3.2t、60mmを超える場合は形鋼L-65×65×3tとする。				
2) 最大覆れ止め支持間隔は、65mm以上から6mとし、50mm以下及び吊钩長さが300mm未満の場合、配管の覆れ止め支持は不要とする。				
※配管の支持間隔：公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）令和4年度版第1編医療ガス設備工事 2.2.2.4 吊り及び支持間隔による				

2-4 配管の施工

- 1) 金属配管の接合は、恒久的な接続となるろう付又は機械的接続する。但し、機械的継手の場合は口径25mm以下とする。
- 2) 機械的継手の接合部が恒久的でない場合は、接続部が腐蝕できるように高鉄口等を設置する。
- 3) 懸取付器具への立ち下げ配管は、最悪・吸引はφ10とする。
- 4) 懸り込み配管の修理は軽負鉄骨型内金網接触部では防食テープ又は所管で防食保護する。
保護する範囲は、壁内の全長450mm以上とする。躯体室内は行管で防食保護する。
- 5) カラーパイプを消滅接合するために被覆を削り取る部分の長さは、500mm以内とする。
- 6) 配管の溶接作業は、酸化防止措置として配管内に不活性ガス（窒素ガス）を流しながら行なう事。
- 7) 異種金属の接続は絶縁ユニオン又は絶縁フランジにより接続する。
- 8) 既設配管との接続工事が必要な為、切戻工事を行なう。
- 9) 既設配管の切り込みは、最初小さな切り込みを入れて圧力が完全に抜けていて誤切断のないことを確認した後に行う。
- 10) 配管設置を増設する場合は、既設配管に接続するまでに、接続部の気密試験を施すすべての試験を実施した後接続する。

2-5 検査・試験

- 1) 配管工事終了後、系統試験を行ない、配管に異常の無い事を確認の上配管気密試験を行なう事。
配管気密試験は圧力計目視による2時間の試験とする。
- 2) 配管気密試験完了後、器具取り付け前に清浄空気又は窒素ガスを放出して管内の清浄を行い、異物、ごみ、塵埃等を十分に除去する。
- 3) 酸素気密試験は、機末の器具全てで取付完了後に行ない、配管及び器具に異常の無い事を確認の上動作試験を行なう事。
酸素気密試験は、圧力計目視による2時間の試験とする。
- 4) 既設配管との接合は、1系統ごとに行い、施工ガス別の系統確認を行う。
- 5) 既設配管へ接続後及び気密試験後は、異ガスの混入を防止するために密閉使用するガス（以下「実ガス」という。）を封入してはならない。
- 6) 接続部の気密試験は、循環送気圧力での検知による発泡漏れ試験とし、吸引配管は吸込みがないことを触手で確認する。

2-6 検査・試験の順序

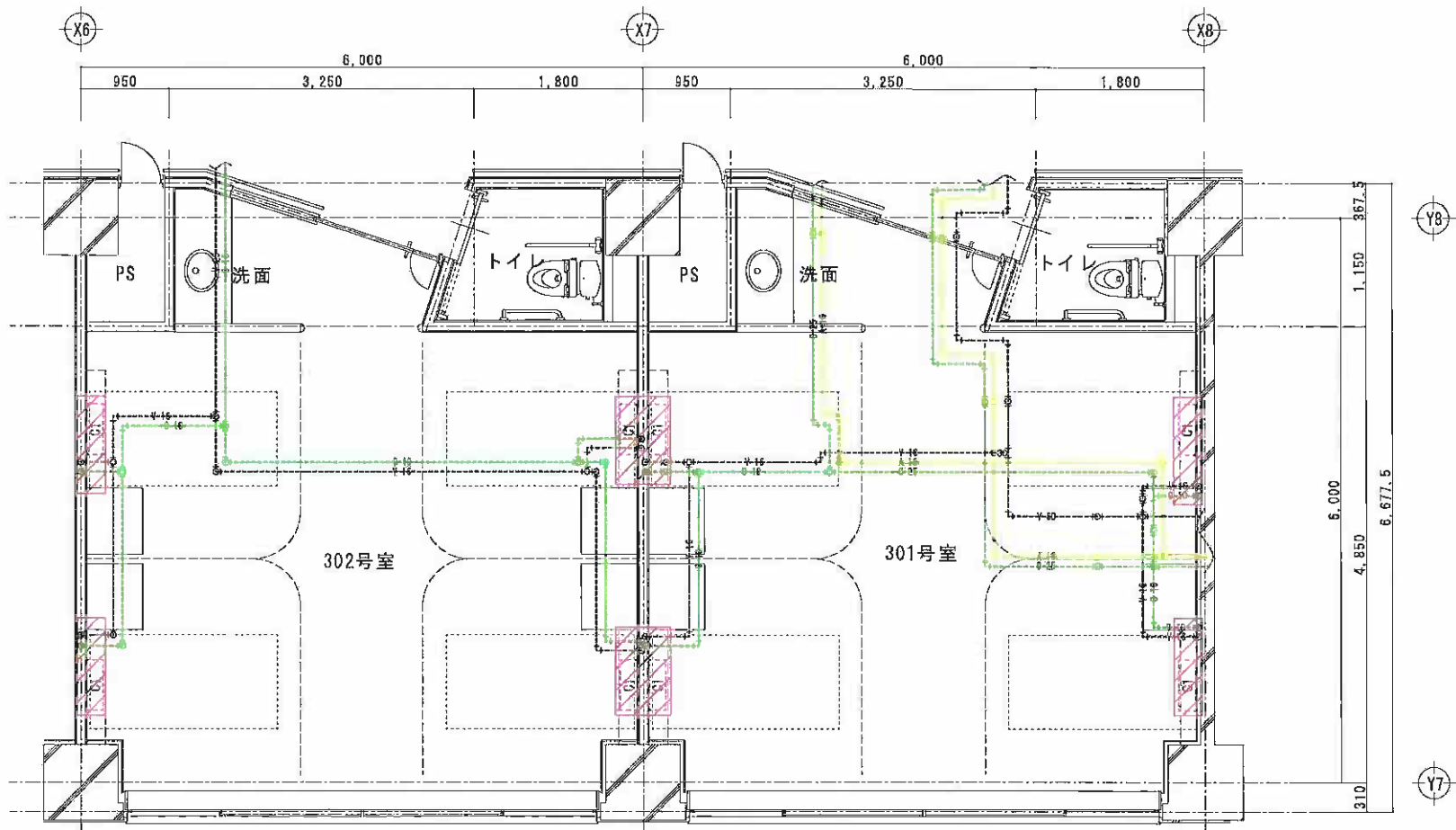
- | | | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|------------|
| (1) 配管外組検査 | (2) 配管系統検査 | (3) 配管気密試験 | (4) 配管内清浄度検査 | (5) 器具内組検査 |
| (6) 酸素気密試験 | (7) 作動及び性能検査 | (8) 竣工検査 | | |
- 検査・試験は区域ごと行ってもよいが各検査・試験を省略せず、次の検査・試験を行ってはならない。
検査不合格の場合、手直し後は必要な検査・試験まで戻って実施する。作動後は気密検査時のポンペは本工事に含まない。
本工事は(1)から(8)の試験を網羅してよい。

2-7 完工検査

竣工引渡し後、すべての系統の配管設備が試験用ガスから当該施設が使用するべく用意された実ガスに置き換えられ、使用可能な状態となったときで、かつ使用開始前に行う。検査に当たっては、当該施設の医療ガス安全・管理委員会の代表又はそれに準ずる者が立ち会い、臨床使用時の安全性を確認する。この時のポンペ及び置換作業は本工事に含まない。

3. 別途工事

- 1) 医療ガスコンソール撤去に關わる電気工事
- 2) 医療ガスコンソール撤去に關わる建築工事及び配管、器具新設に關わる点検口等の建築工事

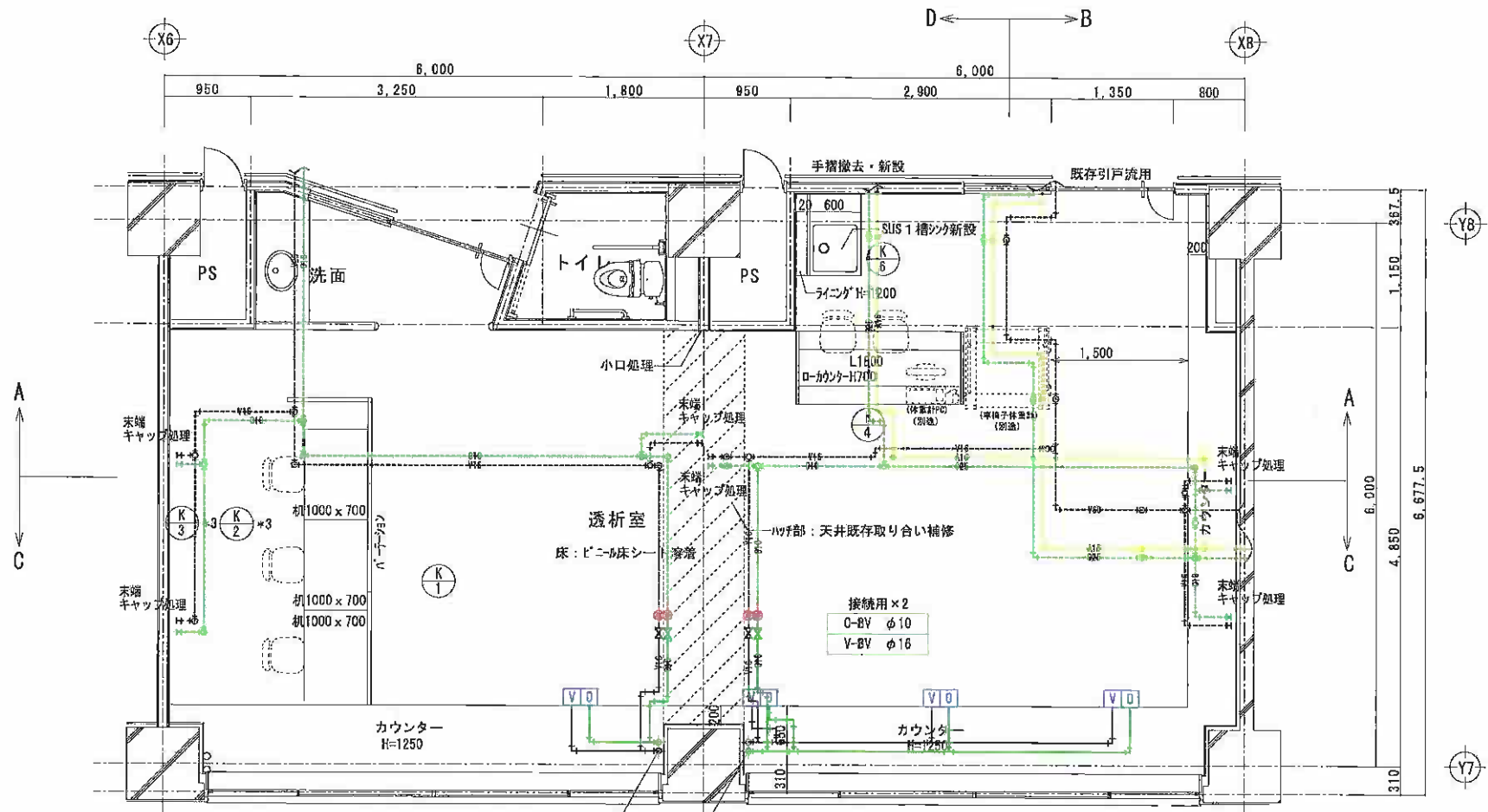


凡例

記号	名称	備考
O	酸素配管ライン	
A	空気配管ライン	
V	吸引配管ライン	
CI	メディカルコンソール (酸素, 吸引)	



※ 破線は既設配管及び既設器具



凡例

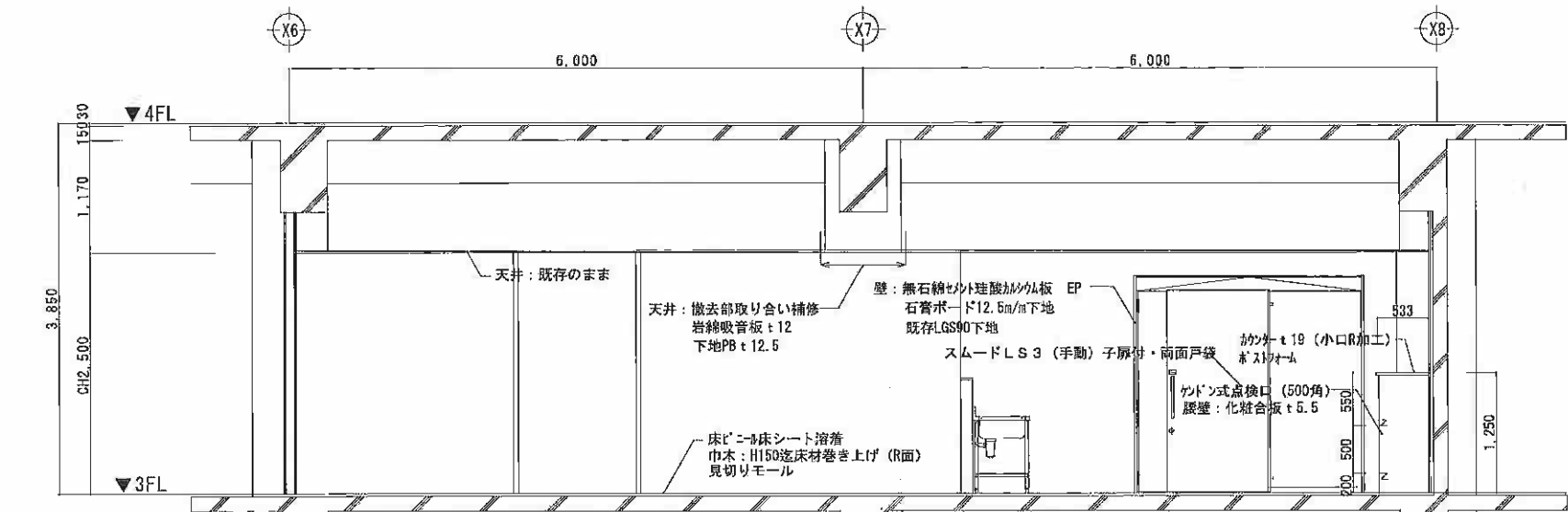
記号	名称	備考
D	酸素配管ライン	
A	空気配管ライン	
V	吸引配管ライン	
CI	メディカルコンソール (酸素, 吸引)	
D V	酸素・吸引壁付アウトレット	カウンター器具取付高さ FL+1000 (器具芯)
●	新設配管接続部	

※ 破線は既設配管及び既設器具

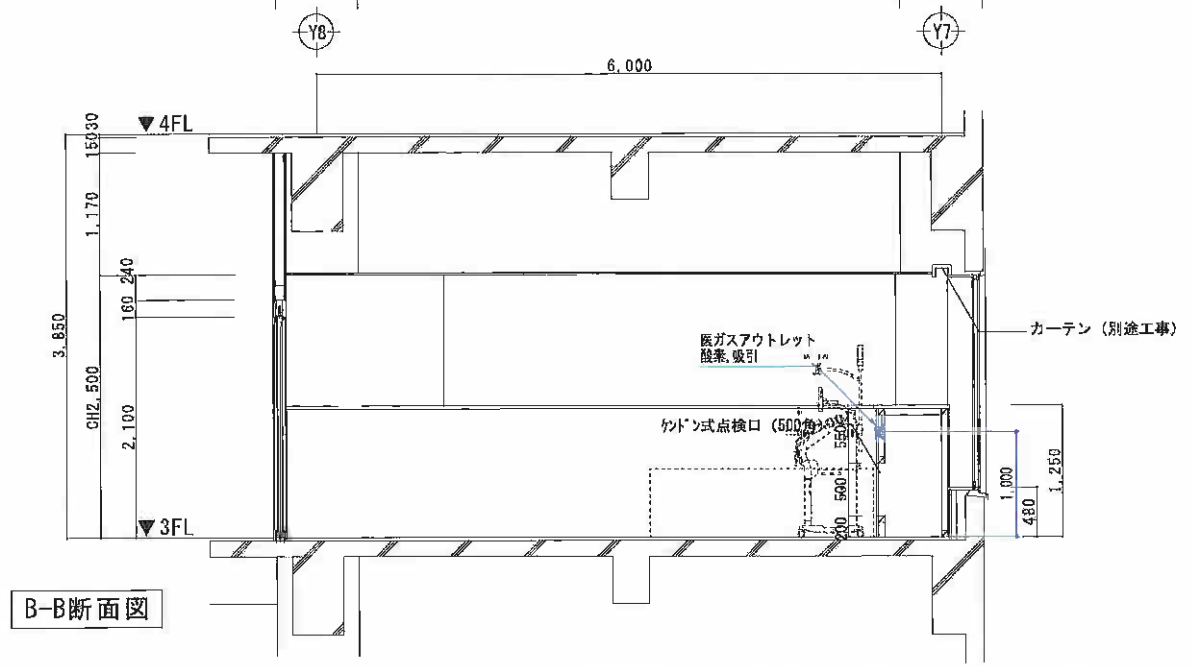


※凡例

新設部分を示す

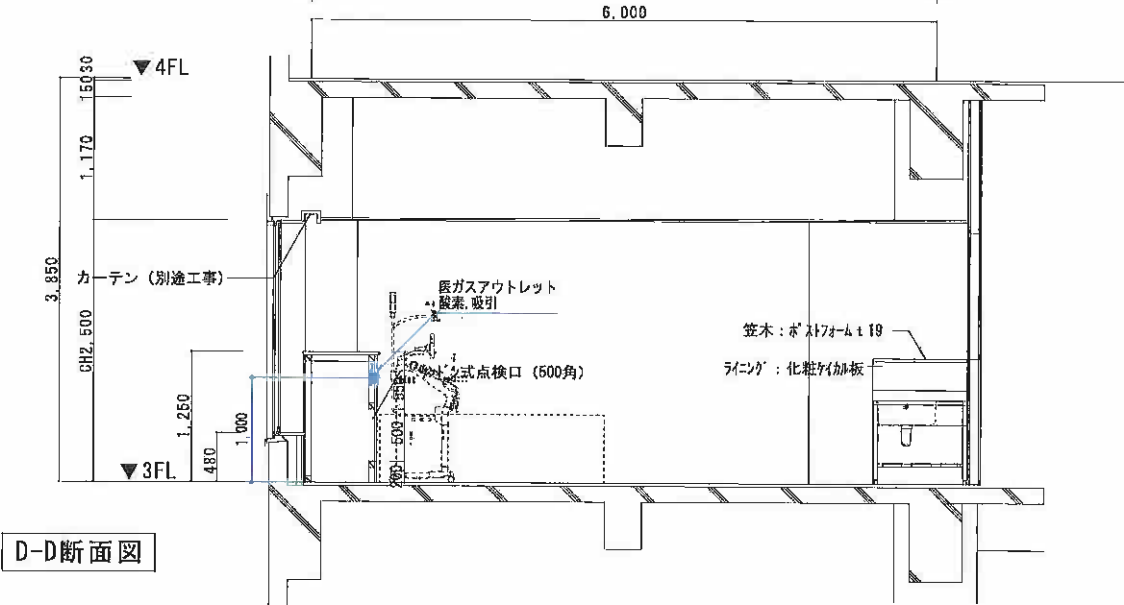
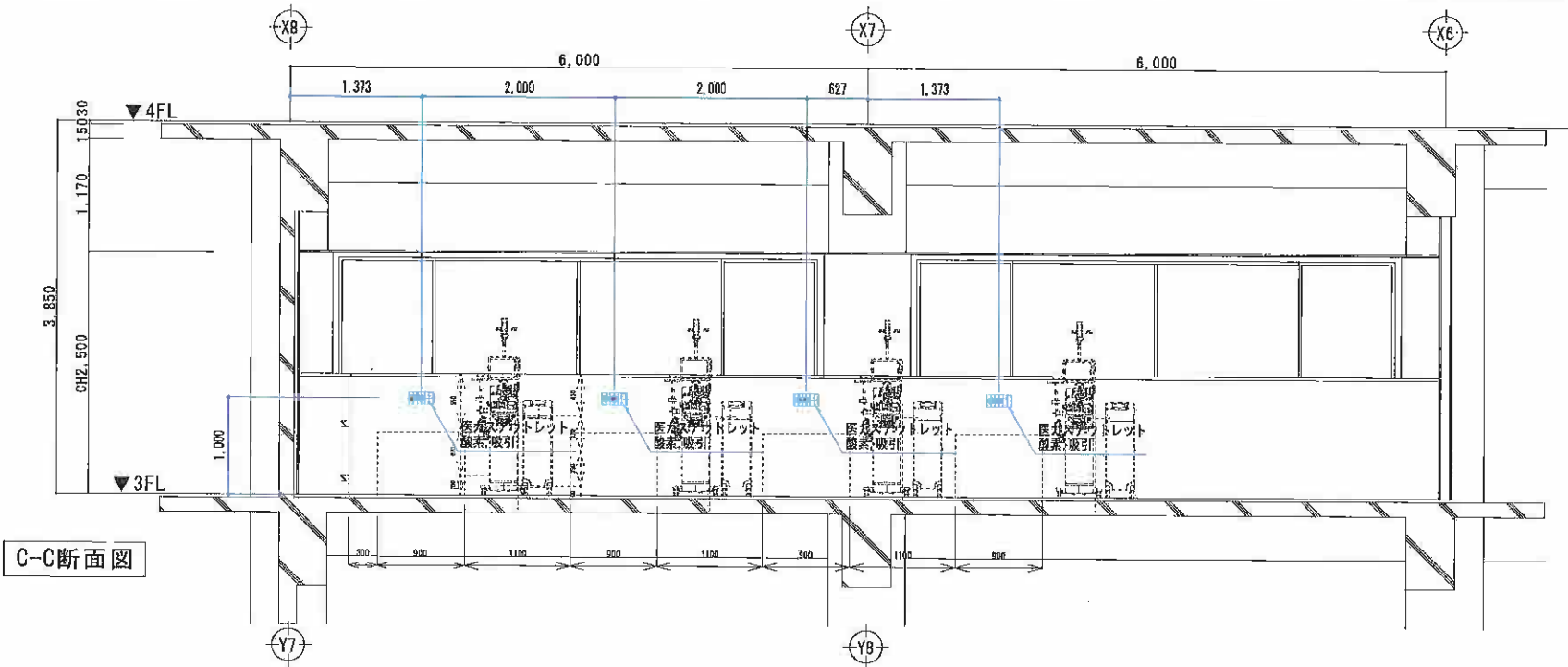


A-A断面図



B-B断面図

原図	承認	作成	名称	観図名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	医ガス設備断面図 1	1/50		23



附録	承認	作成	名称	図面名	縮尺	年月日	NO
			富士川病院 3階病棟改修工事	医ガス設備断面図2	1/50		24